



セキュリティの問題のトラブルシューティング Snap Creator Framework

NetApp
January 20, 2026

目次

セキュリティの問題のトラブルシューティング	1
Transport Layer Security の暗号化の欠陥	1
自己署名 SSL 証明書が URL と一致しません	1
Snap Creator Framework には CA 署名 SSL 証明書が必要です	2

セキュリティの問題のトラブルシューティング

Snap Creator のセキュリティの問題とそのトラブルシューティング方法を理解しておく必要があります。

Transport Layer Security の暗号化の欠陥

• * 問題 *

TLS 1.0 には暗号化の欠陥がいくつかあります。攻撃者は、この脆弱性を悪用して、中間者攻撃を実行したり、影響を受けるサービスとクライアント間の通信を復号化したりする可能性があります。

• * 原因 *

リモートサービスは、TLS 1.0 を使用して暗号化された接続を受け入れます。

• * 是正措置 *

Snap Creator には、TLS 1.0 プロトコルを有効または無効にするオプションがあります。

- a. 下位互換性をサポートするには、`snapcreator.properties` ファイルと `agent.properties` ファイルで `enable_security_protocol_tls_V1` パラメータを Y に設定します。`enable_security_protocol_tls_V1` パラメータはデフォルトで N に設定されています。



`enable_security_protocol_tls_V1` パラメータは、Snap Creator Framework 4.3.3 より前のリリースでのみ使用できます。Snap Creator Framework 4.3.3 が原因で発生する問題です。リリースでサポートされるのは Oracle Java と OpenJDK 1.8 以降のみです。TLS 1.0 のサポートは Snap Creator Framework から削除されました。

自己署名 SSL 証明書が URL と一致しません

• * 問題 *

Snap Creator Framework で提供される自己署名 SSL 証明書が URL と一致しません。

• * 原因 *

Snap Creator サービスで提供されている SSL 証明書の Common Name (CN ; 共通名) は別のマシン用であるため、ホスト名とは一致しません。

• * 是正措置 *

Snap Creator サーバおよび Snap Creator エージェントのインストール時に、ホスト名を解決するためのシステム IP パラメータが導入されました。

- a. System IP オプションで、Snap Creator Framework がインストールされているシステム IP アドレスを入力します。
 - SSL 証明書の共通名は、同じ IP アドレスを使用して作成できます。

Snap Creator Framework には CA 署名 SSL 証明書が必要です

- * 問題 *

Snap Creator Framework には、認証局（CA）が署名した SSL 証明書が必要です。

- * 原因 *

サーバの X.509 証明書に、既知のパブリック証明機関からの署名がありません。

- * 是正措置 *

Snap Creator Framework では、サードパーティの証明書のインストールがサポートされます。

- a. snapcreator.properties ファイルと agent.properties ファイルで、次のパラメータ値を更新します。

 snapcreator.properties ファイル：

 SNAPCREATOR_keystore.pass

 SNAPCREATOR_keystore.path

 agent.properties ファイル：

 keystore.file で保存されます

keystore_pass のユーザ

- a. サーバとエージェントサービスを再起動します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。